

海南消告示第25号

令和5年度上半期海部南部消防組合財政状況の公表について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び海部南部消防組合財政状況の公表に関する条例（昭和48年海部南部消防組合条例第18号）の規定に基づき、令和4年度決算及び令和5年4月1日から令和5年9月30日までの期間における海部南部消防組合の財政状況を別紙のとおり公表する。

令和5年11月30日

海 部 南 部 消 防 組 合

管 理 者 安 藤 正 明

まえがき

海部南部消防組合の財政状況につきましては、1年を2期に分けて公表しています。

今回は令和4年度の決算の概要及び令和5年度上半期における予算の執行状況について申し述べ、管内住民の皆様には海部南部消防組合の財政状況について御理解いただくとともに、今後の組合運営に積極的な御協力をお願いします。

1 令和4年度決算の状況について

一般会計においては、歳入決算額が1,120,428,520円、歳出決算額が1,052,801,314円となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は、67,627,206円となりました。

また、消防指令センター特別会計においては、歳入決算額が96,387,918円、歳出決算額が96,387,916円となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は、2円となりました。

(1) 一般会計の決算の状況

<歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	933,000,000	933,000,000	100.0
2 使用料及び手数料	25,651,000	29,700,026	115.8
3 国庫支出金	15,097,000	15,096,000	100.0
4 県支出金	1,000	0	0.0
5 財産収入	18,000	855,101	4750.6
6 寄附金	1,000	0	0.0
7 繰入金	52,899,000	52,181,735	98.6
8 繰越金	73,449,000	73,449,088	100.0
9 諸収入	7,266,000	7,546,570	103.9
10 組合債	8,900,000	8,600,000	96.6
歳入合計	1,116,282,000	1,120,428,520	100.4

<歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 議会費	459,000	296,350	64.6
2 総務費	152,907,000	145,814,348	95.4
3 消防費	960,109,000	906,690,616	94.4
4 予備費	2,807,000	0	0.0
歳出合計	1,116,282,000	1,052,801,314	94.3

(2) 一般会計の住民負担の状況

科 目	支出済額 (円)	住民1人当たりの経費 (円)
1 議会費	296,350	6
2 総務費	145,814,348	3,007
3 消防費	906,690,616	18,700
4 予備費	0	0
歳出合計	1,052,801,314	21,714

備考 住民基本台帳に基づく令和4年4月1日現在における人口48,486人

注 経費は、それぞれ小数点以下を四捨五入しているため、合計において一致しない。

(3) 消防指令センター特別会計の決算の状況

<歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	81,093,000	76,817,658	94.7
2 国庫支出金	1,000	0	0.0
3 繰入金	20,507,000	19,569,565	95.4
4 繰越金	1,000	2	0.2
5 諸収入	2,000	693	34.7
歳入合計	101,604,000	96,387,918	94.9

<歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 消防指令センター費	97,229,965	96,387,916	99.1
2 諸支出金	15,000	0	0.0
3 予備費	4,359,035	0	0.0
歳出合計	101,604,000	96,387,916	94.9

(4) 財政構造

ア 一般会計

歳入においては、構成市村である弥富市と飛島村からの負担金が933,000,000円で、歳入総額に占める割合は83.27パーセントとなっています。国庫支出金は、緊急消防援助隊設備整備費補助金で15,096,000円です。

歳出においては、消防費が906,690,616円で、歳出総額に占める割合は86.12パーセント、総務費が145,814,348円で、歳出総額に占める割合は13.85パーセントとなっています。

歳出を性質から見ると、人件費、扶助費といった義務的経費が798,110,326円で歳出総額に占める割合は75.8パーセントとなっています。

イ 特別会計

特別会計は、消防指令センターの円滑な運営とその経理の適正を図るために設置したもので、歳入においては、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合からの負担金が76,817,658円で、歳入総額に占める割合は79.7パーセント、当組合の一般会計からの繰入金が19,569,565円で、歳入総額に占める割合は20.3パーセントとなっています。

歳出の主なものは、消防通信指令設備保守点検整備業務委託料が53,059,490円、消防救急デジタル無線システム保守管理業務委託料が18,910,100円で、これらの委託事業の歳出総額に占める割合は74.7パーセントとなっています。

2 令和5年度上半期財政状況（令和5年9月末日現在）

(1) 一般会計の歳入及び歳出の状況

<歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	942,250,000	471,100,000	50.0
2 使用料及び手数料	30,178,000	13,628,320	45.2
3 国庫支出金	2,000	0	0.0
4 県支出金	1,000	0	0.0
5 財産収入	18,000	1,569	8.7
6 寄附金	1,000	0	0.0
7 繰入金	414,000	0	0.0
8 繰越金	60,000,000	67,627,206	112.7
9 諸収入	7,266,000	4,545,337	62.6
10 組合債	729,500,000	0	0.0
歳入合計	1,769,630,000	556,902,432	31.5

<歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 議会費	458,000	3,379	0.7
2 総務費	836,559,000	245,198,880	29.3
3 消防費	930,063,000	403,194,860	43.4
4 公債費	50,000	16,398	32.8
5 予備費	2,500,000	0	0.0
歳出合計	1,769,630,000	648,413,517	36.6

(2) 一般会計の住民負担の状況

科 目	予算現額 (円)	住民1人当たりの経費 (円)
1 議会費	458,000	9
2 総務費	836,559,000	17,278
3 消防費	930,063,000	19,209
4 公債費	50,000	1
5 予備費	2,500,000	52
歳出合計	1,769,630,000	36,550

備考 住民基本台帳に基づく令和5年4月1日現在における人口48,417人

注 経費は、それぞれ小数点以下を四捨五入しているため、合計において一致しない。

(3) 消防指令センター特別会計の歳入及び歳出の状況

〈歳入〉

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	81,840,000	18,965,000	23.2
2 国庫支出金	1,000	0	0.0
3 繰入金	17,763,000	3,407,000	19.2
4 繰越金	1,000	2	0.2
5 諸収入	2,000	710	35.5
歳入合計	99,607,000	22,372,712	22.5

〈歳出〉

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 消防指令センター費	94,594,000	10,654,787	11.3
2 諸支出金	13,000	0	0.0
3 予備費	5,000,000	0	0.0
歳出合計	99,607,000	10,654,787	10.7

(4) 財産並びに地方債及び一時借入金の現在高 (令和5年9月末日現在)

ア 財産現在高

区 分		令和5年9月末日現在高
土地	本 署	13,734.79㎡
	分 署	5,055.00㎡
	出張所	(500㎡)
建物	本 署	1678.02㎡ (475.74㎡)
	分 署	753.82㎡

	出張所	224.68㎡
車両・ 設備等	消防自動車	15台
	救急自動車	4台
	津波・大規模風水害対策資機材	1式
	水陸両用バギー	1台
	その他の車両	7台 (1台)
	原動機付自転車	6台
	舟艇	7艇
	小型動力ポンプ	2台
	フロートジェットポンプ	1台
	空気拡張式テント	1式
	動力油圧救助器具	1式
	電動油圧救助器具	2式
	高度救助用資機材	1式
	署内ネットワーク設備	1組
	総合通信ネットワーク設備	1組
	高機能消防通信指令設備	1式 (1式)
	光ネットワーク設備	1式 (1式)
	消防救急デジタル無線設備	1式 (1式)
Net119緊急通報システム	1式 (1式)	
基金	財政調整基金	109,495,998円

備考1 土地の項中 出張所は、飛島村からの借用（500㎡）である。

2 建物の項中（ ）内は、別棟の訓練塔、倉庫、車庫の面積である。

3 建物の項中 出張所は、224.68㎡の他に飛島村から200㎡（飛島村消防団車庫）を借用し、延べ面積424.68㎡である。

4 車両・設備等の項中（ ）内は、海部地方消防通信指令事務協議会関係によるものである。

イ 地方債現在高 8,600,000円

ウ 一時借入金現在高 該当なし

むすび

当組合の歳入は、ほとんどが構成市村からの負担金と組合債からなります。歳出は、義務的経費である人件費、扶助費等が歳出総額に占める割合が75.8パーセントと大きなものとなっています。

さて、本組合では、令和5年度から新庁舎建設工事が始まりました。また、海部地方消防指令センターの高機能消防通信指令設備に関しても、現在、名古屋市との指令システム共同運用についての開発整備を進めており、ともに令和7年4月1日運用開始としています。また、消防救急デジタル無線事業の共同運用についても、令和7年度からの整備に向け準備を進めています。ほかにも、はしご車の更新を令和7年度に予定するなど、令和5年度から令和7年度にかけてのこれらの事業は、多額の経費を要するため、今まで以上に厳しい財政運営が求められます。

日頃からコスト意識を強く持ち社会経済情勢や住民ニーズの的確な把握を徹底するとともに創意工夫と柔軟な発想を持って住民サービスの向上を図ります。また、限られた財源のもと、将来に向けてより一層健全な財政運営に取り組んでいきます。

職員一丸となって住民の皆さまの期待に応えるとともに、当組合財政への深い御理解と財政運営へのより一層の御理解と御協力をお願いします。